

保険薬局（集計2）

（1施設当たり損益）

	個人					法人					全体				
	金額		構成比率		金額の 伸び率	金額		構成比率		金額の 伸び率	金額		構成比率		金額の 伸び率
	前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)	
千円	千円	%	%	%	千円	千円	%	%	%	千円	千円	%	%	%	
I 収益	100,450	100,798	100.0	100.0	0.3	187,146	185,495	99.9	99.8	-0.9	180,865	179,359	99.9	99.8	-0.8
1. 保険調剤収益	96,806	96,842	96.3	96.0	0.0	175,183	174,247	93.5	93.8	-0.5	169,505	168,639	93.6	93.9	-0.5
2. 公害等調剤収益	334	327	0.3	0.3	-2.1	797	788	0.4	0.4	-1.1	764	755	0.4	0.4	-1.2
3. その他の薬局事業収益	3,310	3,629	3.3	3.6	9.6	11,166	10,460	6.0	5.6	-6.3	10,597	9,965	5.9	5.5	-6.0
II 介護収益	35	35	0.0	0.0	0.0	271	309	0.1	0.2	14.0	254	289	0.1	0.2	13.8
1. 居宅サービス収益	33	32	0.0	0.0	-3.0	262	293	0.1	0.2	11.8	245	275	0.1	0.2	12.2
2. その他の介護収益	2	3	0.0	0.0	50.0	9	16	0.0	0.0	77.8	9	15	0.0	0.0	66.7
III 費用	87,597	88,344	87.2	87.6	0.9	170,339	172,823	90.9	93.0	1.5	164,344	166,702	90.7	92.8	1.4
1. 給与費	11,235	11,516	11.2	11.4	2.5	32,574	32,970	17.4	17.7	1.2	31,028	31,415	17.1	17.5	1.2
2. 医薬品等費	67,388	68,152	67.1	67.6	1.1	120,049	121,502	64.1	65.4	1.2	116,234	117,637	64.2	65.5	1.2
3. 委託費	128	147	0.1	0.1	14.8	566	598	0.3	0.3	5.7	534	565	0.3	0.3	5.8
4. 減価償却費	1,113	1,106	1.1	1.1	-0.6	1,988	1,862	1.1	1.0	-6.3	1,925	1,808	1.1	1.0	-6.1
(再掲)建物減価償却費	258	275	0.3	0.3	6.6	526	503	0.3	0.3	-4.4	506	487	0.3	0.3	-3.8
(再掲)調剤用機器減価償却費	231	222	0.2	0.2	-3.9	569	527	0.3	0.3	-7.4	545	505	0.3	0.3	-7.3
5. その他の経費	7,733	7,422	7.7	7.4	-4.0	15,162	15,891	8.1	8.6	4.8	14,623	15,278	8.1	8.5	4.5
(再掲)設備機器賃借料	617	583	0.6	0.6	-5.5	578	580	0.3	0.3	0.3	581	580	0.3	0.3	-0.2
(再掲)調剤用機器賃借料	382	353	0.4	0.3	-7.6	387	386	0.2	0.2	-0.3	386	384	0.2	0.2	-0.5
IV 損益差額(I+II-III)	12,889	12,489	12.8	12.4	-	17,078	12,981	9.1	7.0	-	16,775	12,946	9.3	7.2	-
V 税金	-	-	-	-	-	2,697	2,252	1.4	1.2	-16.5	-	-	-	-	-
VI 税引後の総損益差額(IV-V)	-	-	-	-	-	14,381	10,729	7.7	5.8	-	-	-	-	-	-
施設数	66					845					911				
処方せん枚数	12,251					18,901					18,419				

- (注) 1. 構成比率は「I 収益」と「II 介護収益」を合算した金額に対する各収益科目、又は費用科目の割合である。(以下同様)
2. 「処方せん枚数」とは、1年間の1施設あたり平均処方せん枚数である。(以下同様)
3. 個人立の保険薬局の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。
4. 個人立の保険薬局は税金について調査していないので、個人立の保険薬局が含まれる集計区分では税金の集計はしていない。(以下同様)

